

2024年4月8日

『ニューヨーク・タイムズ』日本の豪華列車特集記事に 「ななつ星 in 九州」と「或る列車」が紹介されました!!

アメリカを代表する日刊新聞紙のひとつである「ニューヨーク・タイムズ(The New York Times)※」は、日本の豪華列車特集記事を 電子版:4月3日/本紙:4月4日 に掲載しました。その中に JR 九州が運行しているクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」と「或る列車」が紹介されました。

これには、一般社団法人九州観光機構がアメリカ地区に広く“九州”を知らしめるために、契約しているレップ(PR会社:Bullfrog + Baum)に対して、常に最新の情報提供を行い、写真使用の許諾を得るなど、プロモーション活動を支援し続けてきたことも寄与しています。

※ニューヨークに本社があるニューヨーク・タイムズ・カンパニーが発行している1851年創刊の日刊紙。地方紙でありながらワシントン・ポストと並び著名でアメリカを代表する新聞。発行部数でも2大全国紙の USAトゥデイ、ウォール・ストリート・ジャーナルに次いで第3位である。

(掲載文一部和訳)

イギリスのラグジュアリートレインクラブ(以下 LTC)が会員向けに募集したある旅は、豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」で博多を出発して南九州をめぐるものでした。その旅行代金は、1泊2日で、65~90万円(2名1室利用時の1人当たり)、3泊4日だと120~160万円(2名1室利用時の1人当たり)でした。

「この列車は、列車内の上質なサービスと、予約が取りにくい希少価値のため

に人気があります。この列車で旅行したいと熱望する会員が殺到しています。」と LTC 代表は語りました。

ななつ星の名前の由来は、その客車の数と九州の7つの県(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)にちなんで名付けられ、九州の主要な7つの観光素材(自然、食べ物、温泉等)も表現しています。※有名人もななつ星に乗車している(女優兼プロデューサーのマーゴット・ロビーは、昨年、夫と一緒に「ななつ星」に乗るために日本に行ったことをヴォーグ誌に語っています。)

列車は、ラウンジカー、バー、畳敷きの茶室、お土産店、10㎡の個室が8室と20㎡前後のスイートが2室あります。ゲストは列車の中だけで過ごすわけではなく、停車駅近隣の散策に出かけたり、旅館で1泊を過ごすコースもあります。

「或る列車」は、博多と湯布院を結んでおり、片道3時間の道程は、前菜、魚、肉、デザートのコースを楽しむのにちょうど良い時間です。列車は外側に黒と金、唐草模様をあしらったアレンジを施し、内部はバロック様式で飾られています。



■電子版掲載ページ <https://www.nytimes.com/2024/04/03/fashion/luxury-trains-japan.html>

只今、九州観光機構では
「チャンネル九州塾」で
動画を配信しています。



【公式】チャンネル九州塾 登録をお願いします

